



2024年度3Q累計 (2025年3月期 第3四半期) 決算補足説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2025年2月

概ね計画通りに進捗し、増収減益（売上高は過去最高）

■売上高：アフタービジネス好調により増収

（国内）半導体関連需要およびアフタービジネスが好調で増収

（海外）中国の景気減速の影響が大きく減収

■利益：売上原価・販売管理費増により減益

（単位:百万円）

	2023年度 3Q累計実績	2024年度 3Q累計実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	12,363	12,909	+546	+4.4%
営業利益 売上高比	1,237 10.0%	863 6.7%	△373	△30.2%
経常利益 売上高比	1,281 10.4%	949 7.4%	△332	△25.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	896 7.3%	650 5.0%	△246	△27.4%

計測機器事業（増収減益）

売上高12,727百万円（4.5%増）、セグメント利益1,585百万円（15.3%減）

- 国内売上高：半導体関連需要およびアフタービジネスの好調により増収
 - ①環境・プロセス分析機器：半導体関連の旺盛な需要を獲得し受注好調で増収
 - ②科学分析機器：前年同期の大型案件の反動あるも販売は好調で増収
 - ③医療関連機器：主要製品である粉末型透析用剤溶解装置のOEM新機種販売は堅調
 - ④電極・標準液、保守・修理及び部品他：電極等の消耗品や交換部品の販売が好調で増収
- 海外売上高：台湾の半導体関連需要好調、韓国の上下水関連需要回復傾向も、中国景気減速の影響が大きく減収
- 利益：売上原価（新生産棟への集約に伴う移転、海外認証試験）と販管費（人件費・研究開発費の増加、大型展示会への出展）が増加し減益

不動産賃貸事業（減収減益）

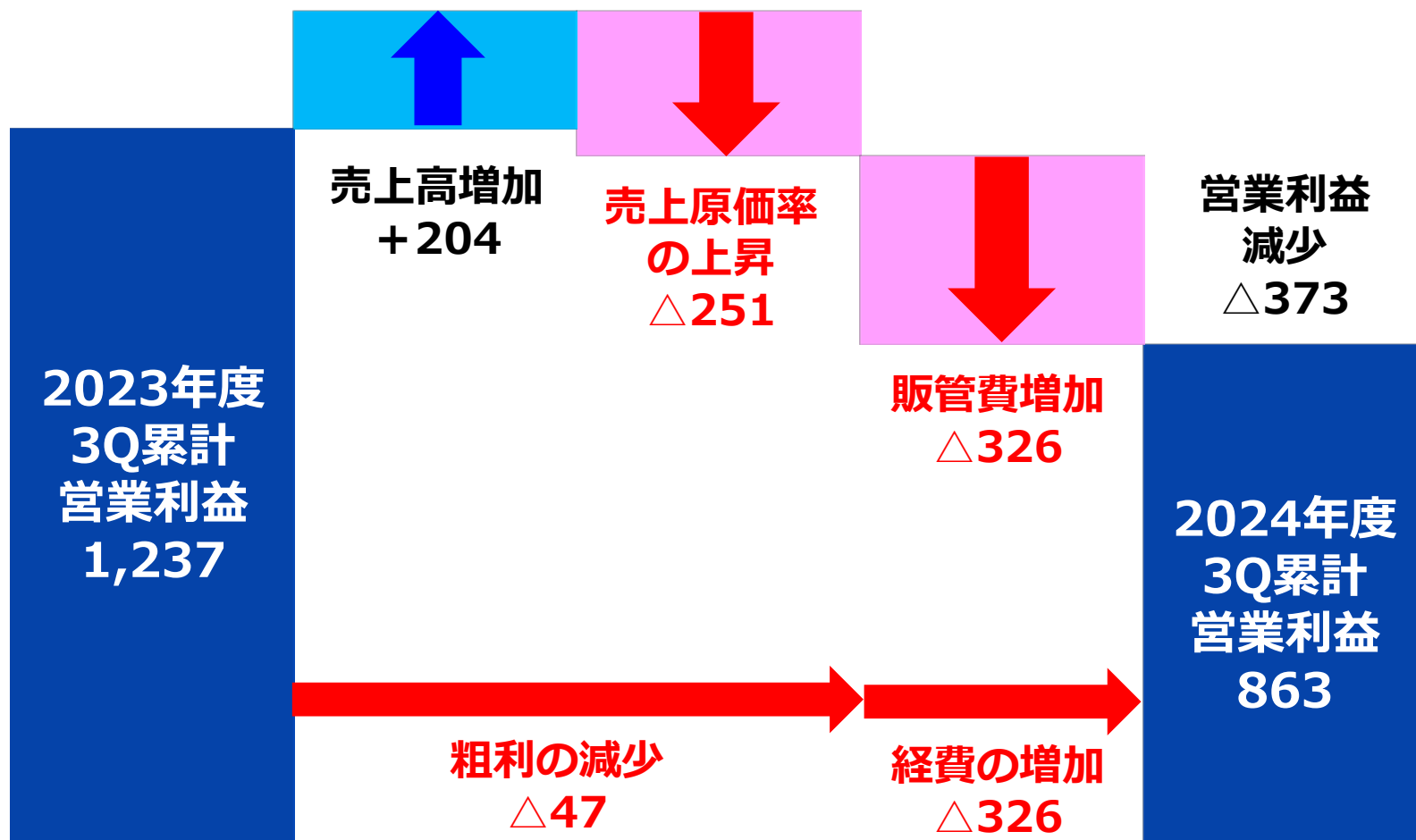
売上高182百万円（0.3%減）、セグメント利益102百万円（0.4%減）

- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

営業利益の増減分析

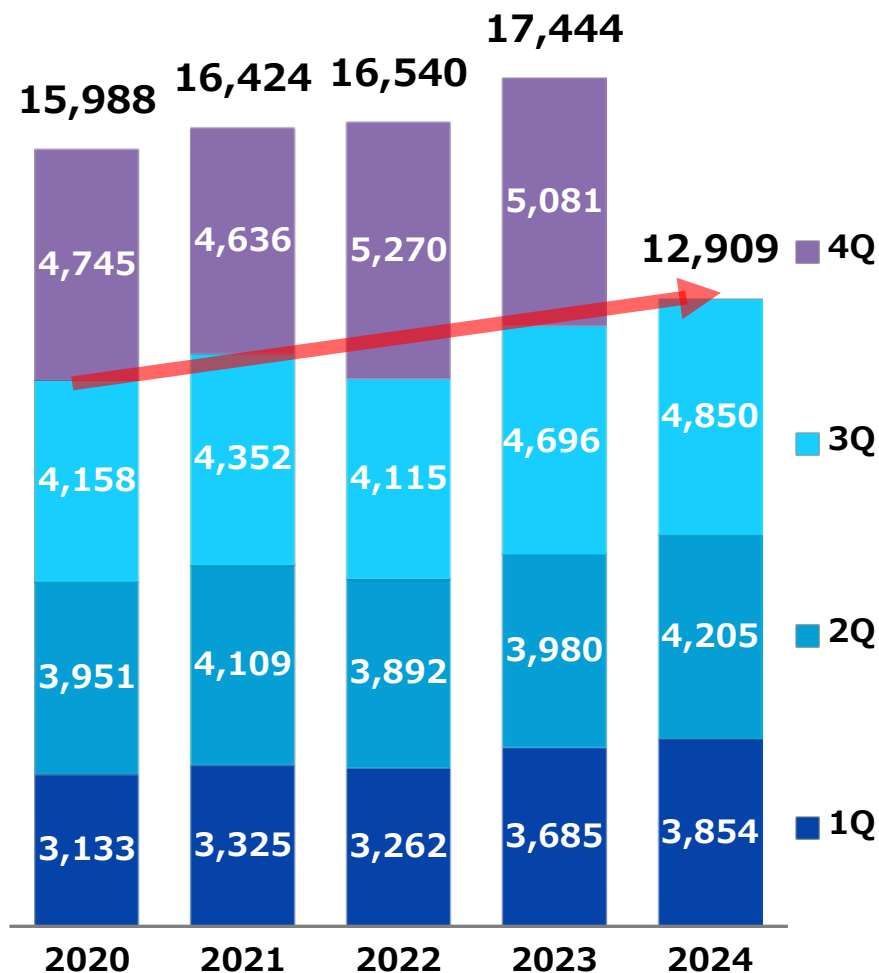


(単位:百万円)

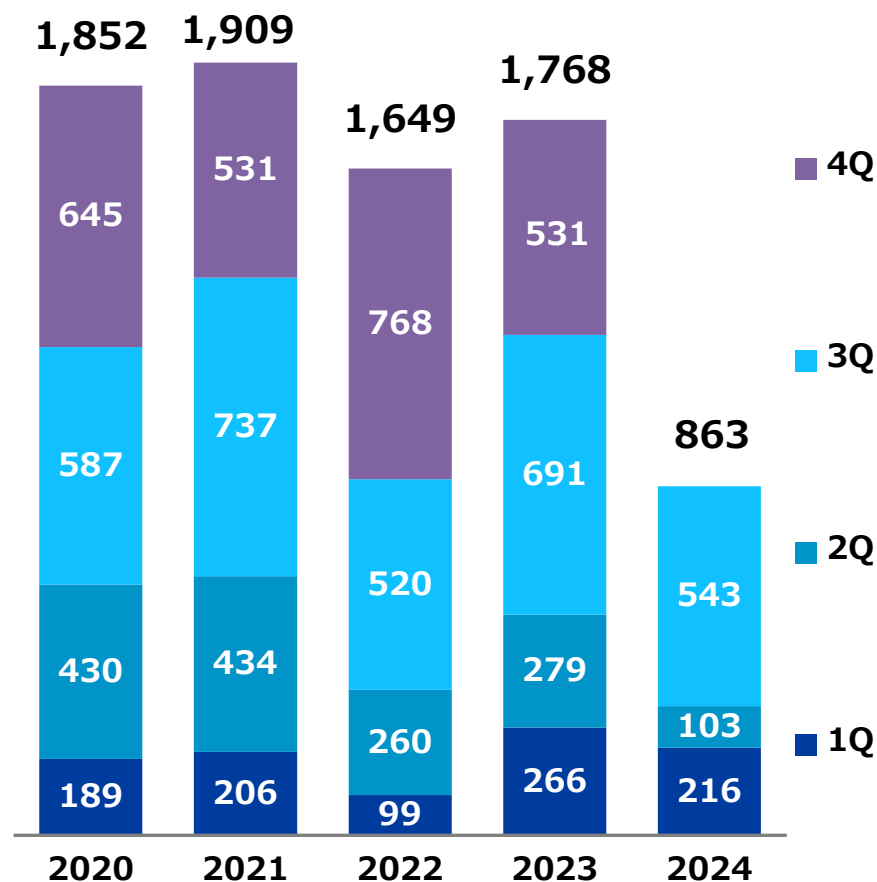


(単位:百万円)

売上高

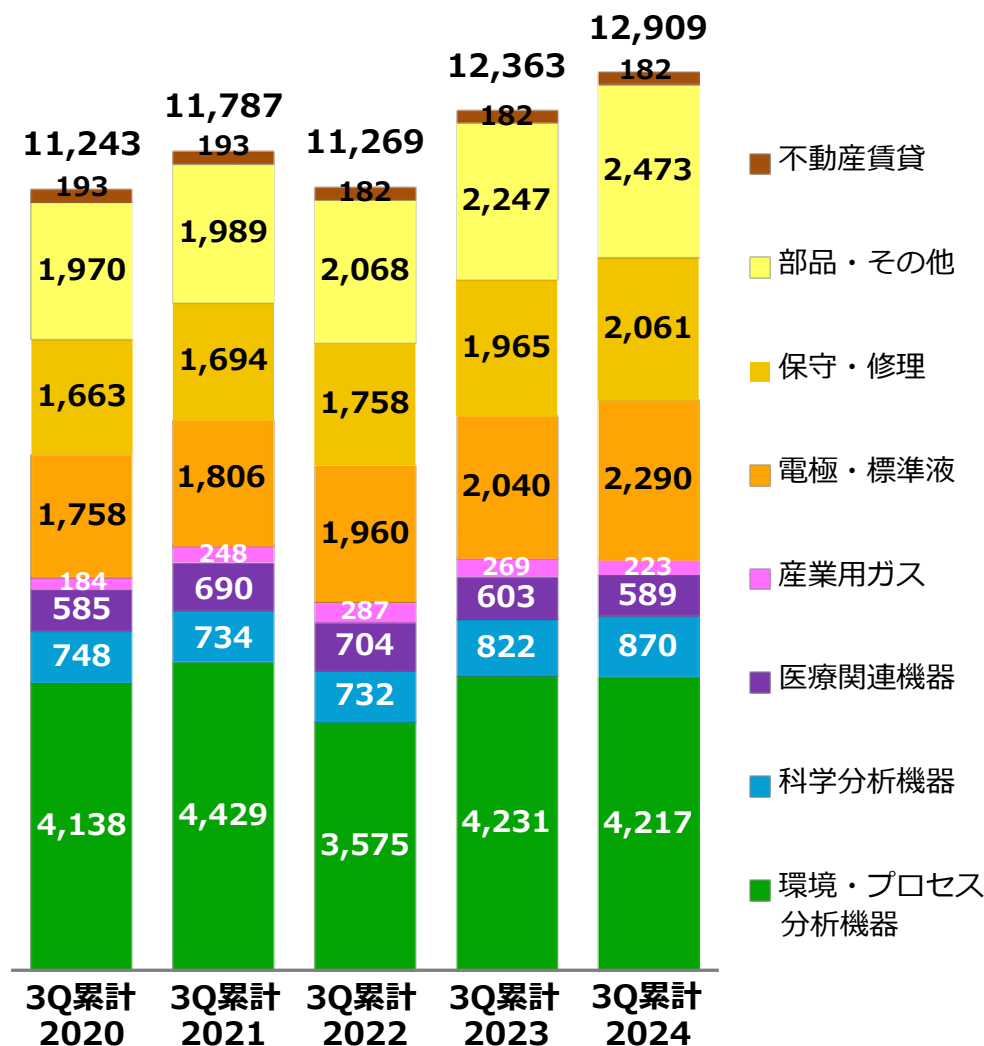
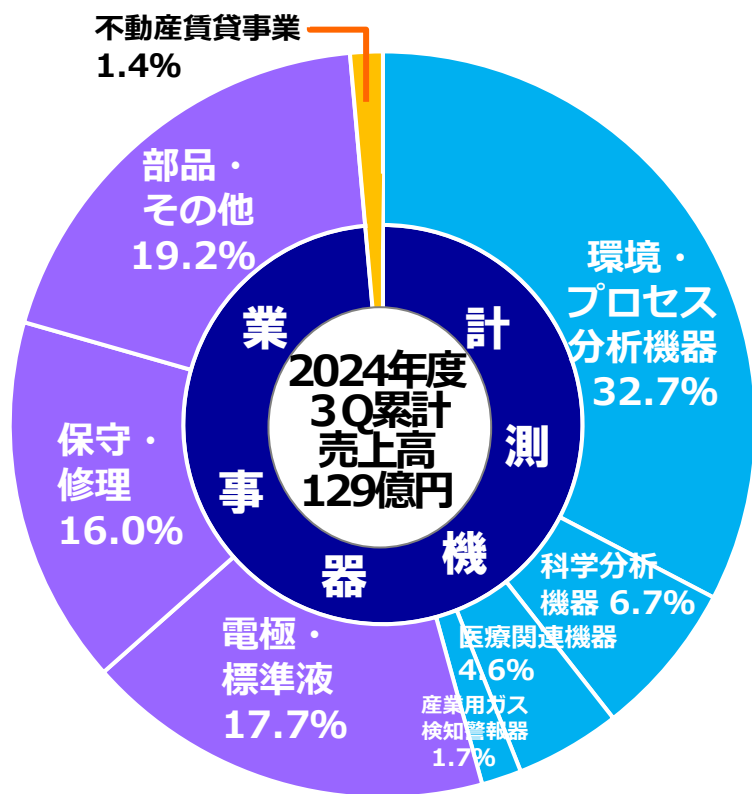


営業利益



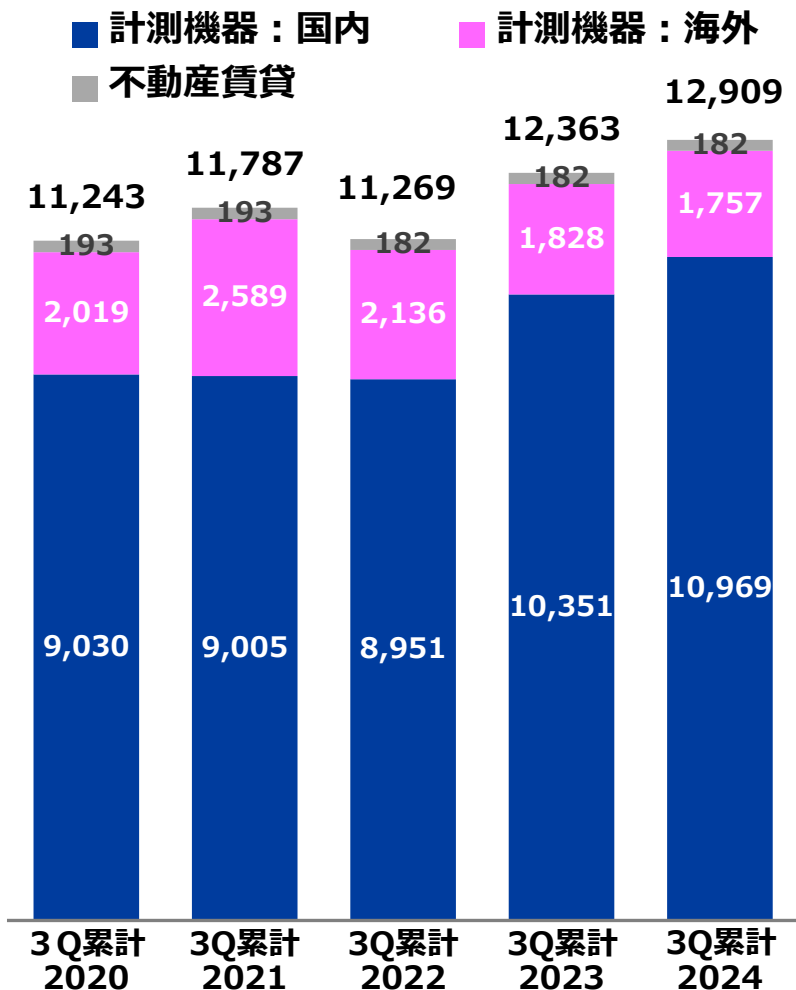
分野別構成比と売上高推移

(単位:百万円)

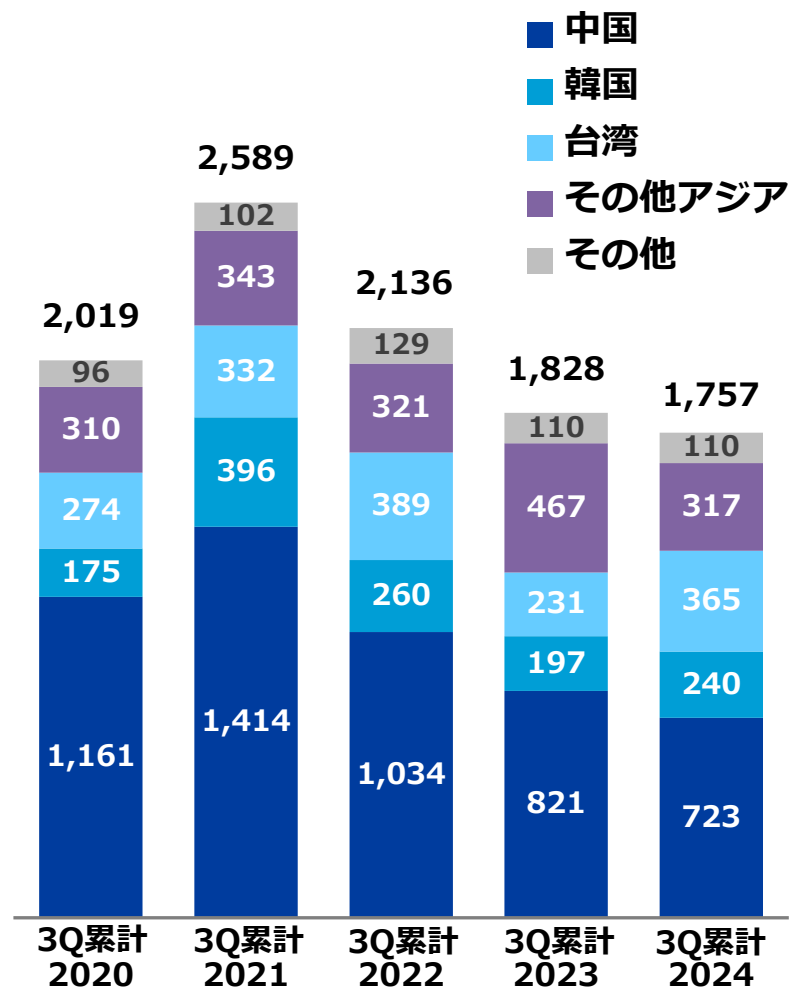


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しておりますので、表中の内訳と合計が一致しない場合があります。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しておりますので、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：https://www.toadkk.co.jp/